

# 船橋市立医療センターNews No.10

●発行年月日/平成23年10月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 高原 善治  
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/>



「ナナカマドと火打山」(新潟県)



## 高齢化社会に向かって

船橋市立医療センター院長 高原 善治

東日本大震災からの復興や原子力発電に対する諸問題にあまり進展をみないまま、季節は秋になりました。しかし、時代は刻々と変化しています。日本では、この10年で高齢化社会がさらに進むと予測されています。特に、東葛地域での加速度は全国でも最も速い地域と予想されています。医療面においても、今から高齢化社会に対する準備をしていかなくてはなりません。これを踏まえて当院では、高齢者に対しても比較的容易におこなえる低侵襲な医療を取り入れていく準備を進めております。脳血管、心臓、大動脈や末梢血管に対する血管内治療、消化管に対する内視鏡治療、腹腔鏡や胸腔鏡を用いた手術がそれにあたります。また、高齢化社会が進むと治療が必要となる人の数が増加します。これに対して医師、看護師などの医療従事者の増員は、今後10年ではなかなか困難が予想されます。また、これに伴う病院施設の増加も簡単には行えません。そこで、現在の医療資源を有効に利用するために、各施設がそれぞれの役割を踏まえて診療することが必要となってきます。つまり、急性期医療、慢性期医療、また入院治療、通院治療、在宅治療と各医療施設が役割をもって診療にあたり、効率化を図っていかねばなりません。それを行うには医療施設間の連携が必須となってきます。当院でも、地域医療連携パスや連携医システムを利用し、当院と他病院や診療所との絆を深め、急性期病院としての役割を果たしていきたいと思っています。

### 目次

院長あいさつ.....	1	中野由紀子副院長(看護部長)が瑞宝双光章を受章!! .....	5
当院における脳血管内治療.....	2~3	滝澤一晴医師がベストプレゼンテーション賞を受賞!! .....	5
診療科紹介 呼吸器外科.....	3	救急医療/当院における地域医療連携.....	6
当院の初期臨床研修医が北海道で地域医療研修を実施.....	4	第7回公開医療講座/職員募集/お知らせ.....	7
		外来担当医師一覧表.....	8

## 脳血管内治療とは

脳神経外科では、脳血管障害、頭部外傷、脳腫瘍を主に治療しています。脳血管障害は、入院患者さんの約半数を占め、くも膜下出血、脳梗塞、脳内出血があります。

脳血管内治療は、脳血管障害を主な対象とした有力な治療手段です。（表.）カテーテルを血管内に挿入し、脳血管の病気を治す治療法です。カテーテルは細くて長い管になっており、足の付け根から動脈（あるいは静脈）に挿入し、放射線の透視下に目的の病変に誘導します。そしてカテーテルの管を通じて病変を治療します。脳血管内治療は開頭手術のような脳への負担がありません。しかし、カテーテルを目的の病変まで進めることができない場合や、脳血管内治療より開頭手術の方が優る場合もあります。我々脳神経外科では、治療の適応について慎重に検討し、患者さんとそのご家族に十分な説明し、ご理解をいただいた上で、脳血管内治療を行っております。ここでは我々が行っている主な治療についてご紹介しましょう。

脳血管内治療の主な対象疾患		術式
脳動脈瘤	破裂脳動脈瘤（くも膜下出血）	コイル塞栓術
	未破裂脳動脈瘤	コイル塞栓術
脳梗塞	頭蓋内主幹動脈閉塞	急性期局所線溶療法 急性期血栓回収療法
	内頸動脈狭窄症	ステントによる血管形成術
血管奇形	脳動静脈奇形	液体塞栓物質を用いた塞栓術
	硬膜動静脈瘻	コイル塞栓術
脳腫瘍	髄膜腫	腫瘍血管塞栓術（液体塞栓物質）

表. 脳血管内治療の対象疾患と術式

## 1. 脳動脈瘤

### i) 破裂脳動脈瘤（くも膜下出血）

くも膜下出血は脳の太い動脈にできた動脈瘤が破裂して起こります。死亡率が高く、とても深刻な病気です。緊急に脳動脈瘤が再破裂しないよう処理する治療が必要となります。脳動脈瘤を直接つぶしてしまう、開頭・クリッピング術と、脳血管内治療であるコイル塞栓術があります。脳動脈瘤が脳の深い位置にあるなど、開頭・クリッピング術が難しいときに、コイル塞栓術を行います。特殊なカテーテルを脳の血管へ、さらには脳動脈瘤の中へ誘導します。カテーテルは細い管状になっていますので、その管を通じてコイルを脳動脈瘤の中に詰めていきます。脳動脈瘤がコイルによって充分つまれば中に血液が流れなくなり、脳動脈瘤からの再出血することがなくなります。これがコイル塞栓術です。開頭手術では、脳をある程度、触ったり押さえたりしなければなりません。脳血管内治療であれば、脳に触れることなく治療できる点が最大の長所です。治療の例を図でお示します。（図）

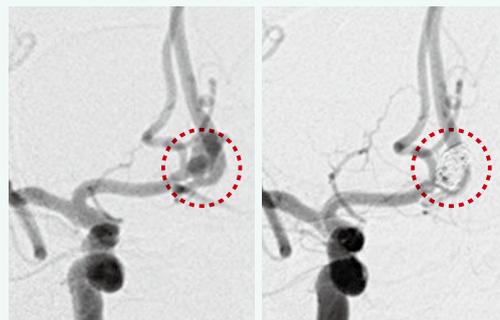


図. 破裂した前交通動脈瘤に対してコイル塞栓術を行った。左は治療前。右は治療後。

### ii) 未破裂脳動脈瘤

未破裂脳動脈瘤は最近、外来でMR検査によって偶然、診断されるケースが増えています。また脳ドックによって診断されるケースもあり、症状のない場合がほとんどです。脳動脈瘤が破裂すればくも膜下出血になりますが、その危険性は年間1%程度と言われています。未破裂脳動脈瘤を治療するかどうかは、患者さんの希望はもとより、年齢、その脳動脈瘤のある部位や、形、大きさなどから判断します。治療法についても、開頭手術にするか、脳血管内治療にするかは総合的に判断することになります。脳血管内治療は、破裂脳動脈瘤と同様にコイル塞栓術ですが、将来の出血を予防するために、よりしっかりとコイルを詰めなければなりませんし、合併症を極力避けなければなりません。従って我々は、未破裂脳動脈瘤の治療において、十分に検討したうえで脳血管内治療を選択しています。

## 2.脳梗塞

### i) 急性期血栓回収療法

脳梗塞は脳の血管が血栓などで詰まってしまい、脳が壊死してしまう疾患です。発症直後に気付いて病院に搬送され、3時間以内に治療開始できる場合は血栓溶解療法を行っています。これはt-PAという薬を静脈に注射して血栓を溶かす治療です。効果的な治療ですが、著効率は3割程度にとどまっています。こうしたt-PA注射での治療が無効な場合や、発症から3時間以上8時間以内で治療可能な脳梗塞に対して、新しい治療である血栓回収療法を行えることがあります。これはすべての脳梗塞で行えるわけではなく、対象は非常に限られます。特殊な道具を詰まっている血管にすすめ、血栓を取り除きます。まだまだ新しく改良の余地がある治療法ですが、当科でも行っていく方針であります。このほか、従来から行われていた、局所線溶療法（カテーテルから、血栓溶解の薬を直接注射して血管を通す治療）を行うこともあります。

### ii) 頸動脈狭窄症

動脈硬化により頸動脈が狭くなる疾患です。頸動脈狭窄症により脳梗塞をおこす危険が高まります。頸動脈狭窄症による脳梗塞を予防する治療として外科治療である頸動脈内膜切除術と、ステントを用いた血管形成術があります。現在は、頸動脈内膜切除術は脳神経外科が行い、ステントを用いた血管形成術は循環器内科が行っています。脳神経外科と循環器内科が協力して治療にあたっています。

## 3.血管奇形

脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻<sup>ろう</sup>といった稀な血管奇形に対しても脳血管内治療を行っています。血管奇形の治療は、病変に到達するのが非常に難しく、ときに瞬時に接着<sup>しゅうけい</sup>する液体塞栓物質を用いるなど、高度な知識と技術を要します。症例によってはエキスパートを招聘して治療することもあります。

以上、ごく簡単ではありますが主な脳血管内治療について紹介しました。

### おわりに

当科での脳血管内治療は前脳神経外科部長の故上野淳司先生が平成8年頃に導入し、精力的に取り組み成果をあげてきました。平成17年に急逝されてからは現在のスタッフが引き継いでいます。上野先生の教えを基に、当院の脳血管内治療をますます発展させていきたいと思っております。



## 診療科紹介

### 呼吸器外科

呼吸器外科は、肺がんを中心に、自然気胸<sup>のうぼうせい</sup>などの嚢胞性肺疾患、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫、胸壁腫瘍などの外科的治療が必要な呼吸器疾患<sup>しゅうき</sup>全てに対応しています。

肺がんの手術は原則的に胸腔鏡を併用し、侵襲<sup>しんこう</sup>の少ない手術を心がけています。自然気胸の手術は基本的に完全鏡視下にて手術を行っています。高齢化に伴い、術前に心疾患や糖尿病などが問題になる患者さんもおりますが、当院は、総合病院の診療機能を活かし、他の



診療科との連携を図り、集学的治療を行っています。入院中は、クリニカルパス（入院中に行う標準的治療・処置・検査等を記載したスケジュール表）を導入し、診療の標準化と合理化、患者さんの満足度の向上に努めています。

治療に対しては、術前に詳細な説明を行い、患者さんご家族に治療の目的、方法、効果、危険性を十分に理解していただきます。病状によっては抗癌剤治療、放射線療法を加えた集学的治療が必要になりますが、このような場合は呼吸器内科や放射線科と連携をし、エビデンスに基づく治療を行います。



部長  
内田 修

# 当院の初期臨床研修医が 北海道で地域医療研修を実施

当院は、厚労省認定研修指定病院として、平成10年（1998年）より研修医の教育を受け持っています。その教育プログラムの中に、地域医療研修があります。当院では、これまで船橋市医師会の協力をいただき、市内の診療所での研修をさせていただいていました。さらに今年度から地域医療研修の必修化に伴い、市内診療所研修に加え、医師不足が深刻な地方の現場を経験してもらうことを目的に、釧路三慈会病院の協力を得て、釧路地域での地域医療研修を始めました。同院の外来や病棟での研修のほかに、医師一人で過疎地域を受け持つ町立浜中診療所での研修も行います。当院のような救急や高度医療を中心で行う大規模病院では経験できない、地域で暮らす患者さんや家族のニーズにこたえていく医師の姿をみつめる機会が与えられ、一人前の医師となるための貴重な教育の場になることを期待しています。

6月より2週間交代での研修が始まっており、研修を終えた研修医は、「医療センターでは医師が数人ついて行っている検査を、ここでは医師一人で行っているのが新鮮でした。看護師や技師、スタッフの協力で医療が成り立っていることを実感しました。」と感想を述べています。

今年度のみならず、今後も釧路三慈会病院との協力を深め、医療過疎と言われる医師不足の厳しい状況を研修医が理解を深めていければと考えています。

臨床研修部長 福澤 茂

## 「釧路での地域医療研修」

今回私は地域医療研修のために、釧路三慈会病院で研修に行ってきました。

研修期間は7月3日から17日の2週間でした。その時期千葉では気温30℃を超える日が出始めていましたが、釧路は驚くほど涼しく、平均気温は18℃前後でした。

気候だけでなく、三慈会病院と船橋市立医療センターでの研修は様々な違いがあり、とても新鮮な経験ができました。

研修をしていく上で一番大きな違いは、三慈会病院が整形外科と循環器内科を中心とした病院であり、船橋市立医療センターのような総合病院ではない点でした。

入院患者さんが整形外科と循環器内科以外の病態になった場合、医療センターのようにすぐに各科の先生に相談はできません。専門外でも自分達で対処しなければならず、対応しきれない様な時は搬送先を探さないといけなくなります。

医療センターのように各科が揃い、いつでも他の科の先生方へ相談できるのは恵まれた研修環境なのだと実感しました。

地域医療研修ならではの感じたのは、病院職員の協力体制でした。

三慈会病院は医療センターのように大きな病院ではありませんが、その分医師・看護師・コメディカル・事務の人達のコミュニケーションが取りやすく、より協力しやすい体制ができていました。

高い専門性を保ちつつ、地域病院の様な、良好なコミュニケーション性を取り入れていくことがより良い医療の提供につながるのではないかと感じた地域医療研修でした。

初期臨床研修医 陶山 謙一郎



摩周湖（北海道）

# 中野由紀子副院長(看護部長)が 瑞宝双光章を受章!!



当院の中野由紀子副院長(看護部長)が、瑞宝双光章を受章しました。7月5日、中野副院長は厚生労働省にて、医政局長より瑞宝双光章の伝達を受け、その後勲章を着用し、皇居の春秋の間において天皇陛下に拝謁いたしました。

中野副院長は、次のように受章の喜びを語りました。

「看護師として国立東京第2病院(現国立病院機構東京医療センター)に就職してから、30数年以上が過ぎ10か所の病院、療養所等を異動しました。この間に周囲の沢山の方々に支えられ学ばせていただいたことが今回の受章に結び着いたと思います。大変な栄誉であり心より感謝しております。

私が看護師になった頃と現在では、医療は高度化され、より複雑となってきました。それに伴い看護師は多くの知識、技術を習得することになりましたが、変わらないのは、患者さんの思いを丁寧に汲み、共に前へ進むことです。関わった患者さん、家族の方々からは沢山の事を教えていただき、その時のその表情をいつでも思い出すことができます。年を経えますます看護の奥が深いことを実感しています。この受章を機会に、これからは、臨床で生き生きと活躍できる看護師が育つ環境を整え、今しばらくは看護の道を邁進し、社会のお役に立ちたいと考えています。」



# 泌尿器科 滝澤一晴医師が 第606回 日本泌尿器科学会東京地方会で ベストプレゼンテーション賞を受賞!!



当院の滝澤泌尿器科医師は、平成23年6月18日に丸ビルにて開催された「第606回日本泌尿器科学会東京地方会」において、「救命し得た腎動脈瘤破裂の1例」について発表し、最も優れた発表として、ベストプレゼンテーション賞を受賞しました。

受賞した滝澤医師は、「各施設から非常に興味深く、また素晴らしい発表が多い中、栄えある賞を頂戴し大変光栄に思います。今後さらに日頃の診療に力を入れながら、臨床研究などにも積極的に取り組んでいきたい」と新たな決意を述べました。



当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

## 第7回

# 救急医療

## 救急医療における整形外科

整形外科部長 三村 雅也

当院の救急現場で整形外科が主に関わるのは、交通事故や作業中の事故その他で救急搬送される脊椎・脊髄損傷、骨盤四肢の多発骨折、及び脊椎・脊髄の急性麻痺などの怪我や病気などです。これら重度の傷病は、当院のような高度医療施設に集まるため、整形外科でも常に万全の体制を敷いて診療にあたっています。

他にも救急外来で扱う怪我や病気はたくさんありますが、ここでは皆様が身近に遭遇するかも知れない骨折と脱臼についてお話しします。

**骨折：**通常の骨折は、とりあえず固定などの処置をしておけばそれほど焦る必要はありませんが、中には注意を要する骨折があります。骨折した所の傷から骨が、見えたり飛び出

したりしている骨折のことを、開放骨折と呼びます。この場合、すぐに創部洗浄などの処置をしないと、傷が化膿して骨髓炎になる危険性が高まります。また、骨折時に血管や神経が傷ついた場合、骨折部より先が変色して冷たくなったり、しびれて動かせなくなったりして、放っておくと障害が残る可能性があります。

**脱臼：**関節の脱臼は、なるべく早く整復しないと戻すのが困難になったり、後にはずれ易くなったりするので厄介です。顎関節脱臼や肩関節脱臼は、ちょっとした動作で起こることがあります。幼児が手を引っ張られた後に痛がって上肢を動かさなくなったら、おそらく肘内障という肘の垂脱臼です。指の脱臼はスポーツ中の怪我などで比較的多くみられます。

ここに挙げた骨折や脱臼が疑われる場合には、早急に整形外科の医療機関を受診しましょう。



# 当院における地域医療連携

## ～ 地域医療連携パス ～

地域医療連携につきましては、紹介・逆紹介をはじめ症例検討会など様々な形で地域の医療機関との連携が進められています。

医療へのニーズが多角化、複雑化する中で、急性期においては高度医療機関で手術などの治療を行い、回復期においては回復期の医療機関でリハビリテーションを行い、症状が改善して自宅にも帰る、あるいは症状が固定して慢性期になった場合は地域のかかりつけ医が診療するというように、それぞれの医療機関が役割を果たし、地域の中で患者さんが安心して診療を受けられるように連携を図ることが医療の命題となっています。

地域医療連携パスも連携のツールのひとつです。地域医療連携パスという疾病ごとに定められた共通の書式を使い、診療情報をそれぞれの医療機関と患者さんと共有しつつ診療にあたっていくというものです。

当院においても、大腿骨頸部骨折、脳卒中という回復期病院との連携により大きな治療効果が得られる疾病の地域医療連携パスが先行して運用されておりましたが、平成22年度から「がん」についても千葉県が作成した共用パスの使用を開始しているところです。

がん診療連携拠点病院が集合する協議会においても共用パスのよりよい運用について協議を重ねています。

本年度は、実際に医師が集まって協議会を開催するほかに、テレビ会議システムも使用しています。ふだん一同に会することが難しい医師にとって有効な手段となっています。



テレビ会議参加中の丸山外科部長

# 「成人喘息の 診断から治療まで」を開催しました

第7回 公開医療講座



7月20日（水）に船橋市民文化創造館きららホールにて、第7回公開医療講座「成人喘息の診断から治療まで—喘鳴・咳・痰・呼吸苦のある方へ—」を開催しました。当日は折しも台風6号の襲来と節電の影響が重なってか、聴衆は少人数でしたが本当に熱心な方々にご参加いただきました。当院呼吸器内科の



多部田弘士技監（部長）が肺の働き、呼吸器症状などの話から始まり、喘息の診断と治療について最新の情報の講演をしました。特に、喘息はきちんと診断することが大事であり、その後は吸入ステロイド薬を中心とする治療を継続すれば発作を起こすこともないし喘息死することもない点を力説しました。聴衆の1人である最近多部田技監の外来に通り始めた難治性喘息の方から、“話の内容が一つ一つ自分の病状に当てはまり非常に合点がいった”との感想をいただきました。日常外来では説明し切れないことをまとめて理解していただく良い機会となりました。

## 次回講座の お知らせ

会場 市民文化創造館（きらら） 費用 無料

定員 当日先着200人

問い合わせ 医事課 047-438-3321(代)

第8回

「あなたの病気ががんです」と言われたら  
～がんになったらどうするか～  
日時：10月13日(木) 午後2時30分～3時30分  
講師：丸山 尚嗣（外科）

第9回

インフルエンザ・ノロウイルス予防対策  
～手洗いは感染予防の第一歩～  
日時：12月22日(木) 午後2時30分～3時30分  
講師：池崎 陽子（感染管理認定看護師）

## 看護師（正規・パート）募集

平成24年4月1日採用  
平成23年度中途採用



救急医療、がん医療、  
地域医療に発展的に  
がんばっている病院です。  
一緒に働きませんか。

平成23年12月17日  
試験開催予定

詳細は当院ホームページ  
をご覧ください。か、  
総務課庶務班までお問い  
合わせください。

- 資格／看護師免許をお持ちの方又は、取得見込の方
- 募集／看護師（正規・パート）
- 休日／4週8休制（パート職員の場合は、勤務日数・時間の相談に応じます。）
- 申込期間／11月1日～11月30日まで  
（正規職員は試験・パートは随時募集）

※看護職を対象とした病院説明会を開催しています。  
当院ホームページをご覧ください。

## 工事のお知らせ

- 現在、当院の利便性向上と交通安全対策を目的とし、当院の敷地内に、バス停を移設するための工事を行っています。
- 工事期間中、当院敷地内ロータリーの車線規制を予定しており、何かとご不便、ご迷惑をおかけすると思いますが、皆様のご協力をお願い致します。

船橋市立医療センター 電話番号 047-438-3321(代)

※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページをご覧ください。

# 外来担当医師一覧表

平成23年10月1日現在

		月	火	水	木	金	備考	
内科	新患	櫻井 健洋	前川 祐子	下山 立志	小澤 俊	上岡 英子		
	呼吸器	中村祐之・安田直史	徳田敦子・中村純	多部田弘士・安田直史	中村祐之・中村純	多部田弘士・徳田敦子	※(火)の水本、(水)の安藤、(木)の関、海老沢、(金)の小林は予約患者のみ	
	消化器	水本 英明	水本英明・関厚佳	安藤健・小林照宗	水本英明・関厚佳	小林照宗・安藤健		
	代 謝	岩岡 秀明	下山 立志	鶴岡 明	海老沢里依子	岩岡 秀明		
心臓血管センター	循環器内科	予約	杉岡 充爾 稲垣 雅行	福澤 茂 沖野 晋一	前川 潤平 稲垣 雅行	杉岡 充爾 市川壮一郎	福澤 茂 池田 篤史	心臓血管外科の手術の相談は、循環器内科でも応じます
		新患	前川 祐子	市川壮一郎	沖野 晋一	池田 篤史	前川 潤平	
	心臓血管外科	〔手術日〕	高原善治・茂木健司	〔手術日〕		〔手術日〕	午後1時30分から ※第1・3・5 高原 ※第2・4 茂木	
緩和ケア内科				〔交替医〕	〔交替医〕		午前9:00～ 予約患者のみ	
精神科		宇田川雅彦	宇田川雅彦 三根 若菜	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦 赤澤 文代	新患は事前予約が必要	
小児科		中村 公則 木谷 豊	佐藤 純一 伊賀 裕子	丹羽 淳子 小林 弘信	木谷 豊 吉田 未識	伊賀 裕子 坂井 美穂		
外科		丸山 尚嗣 唐司 則之 宮崎 彰成 〔交替医〕	渡辺 義二 佐藤やよい 山本 悠司 〔交替医〕 〔手術日〕	唐司 則之 丸山 尚嗣 松崎 弘志 〔交替医〕 〔手術日〕	田中 元 齋藤 洋茂 〔交替医〕 〔手術日〕	田中 元 松崎 弘志 宮崎 彰成 〔交替医〕		
整形外科		〔交替医〕 〔手術日〕	池之上純男 高瀬 完 〔交替医〕	三村 雅也 鮫田 寛明 新保 純	〔交替医〕 芝山 昌貴 〔手術日〕	〔交替医〕 山口 毅 〔手術日〕	予約のない患者は (月)・(木)・(金)	
形成外科		〔手術日〕	薬丸 洋秋	薬丸 洋秋	〔手術日〕	岡田 宇広		
脳神経外科		唐澤 秀治 〔交替医〕 鈴木 健也	三ツ橋茂雄 唐澤 秀治 〔手術日〕	畑山 和己 根本 文夫 唐澤 秀治	唐澤 秀治 安間 芳秀 〔手術日〕	内藤 博道 唐澤 秀治		
呼吸器外科		内田 修 一ノ瀬修二	〔手術日〕	内田 修 一ノ瀬修二	木下 孔明 〔交替医〕	〔手術日〕	(木)は内田・一ノ瀬が交替	
皮膚科		宮川 健彦 若林正一郎	宮川 健彦 若林正一郎	〔手術日〕	宮川 健彦 若林正一郎	〔交替医〕	予約のない患者は (月)・(火)・(木)	
泌尿器科		武田 英男 〔手術日〕	佐藤 信夫 滝澤 一晴	〔交替医〕 〔手術日〕	佐藤 信夫 宮本 憲生	佐藤 信夫 〔手術日〕		
産婦人科		鈴木 康伸 斉藤 俊雄	森竹 哲也 吉原ちさと 〔手術日〕	斉藤 俊雄 佐川 泰一 〔手術日〕	鈴木 康伸 林 敏	林 敏 大淵 紫 〔手術日〕		
眼科		上原 七生 谷口 有子	松枝 美文 〔手術日〕	松枝 美文 〔手術日〕	上原 七生 上原淳太郎	谷口 有子 上原淳太郎	予約のない患者は (月)・(木)・(金)	
耳鼻いんこう科		〔手術日〕	伊原 史英 大塚雄一郎	伊原 史英 大塚雄一郎	〔交替医〕 派遣医師 〔手術日〕	伊原 史英 大塚雄一郎		
放射線科		青柳 裕			原 竜介		新患は事前予約が必要	
麻酔科		〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	午前9:30～11:30 予約患者のみ	
歯科口腔外科		村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行		
特殊外来	女性専用(内科)	大淵 紫		古池 織恵			予約患者のみ	
	腎臓内科(内科)		〔交替医〕				午後1:30～ 予約患者のみ	
	神経内科(内科)			澤井 摂			午後1:00～ 予約患者のみ	
	スプリント外来(心外)		桜井 学				午後1:30～	
	ペースメーカー外来			稲垣 雅行			午後1:00～	
	小児循環器(小児)	佐藤純一・〔交替医〕	松本 歩美	佐藤 純一			午後 予約患者のみ (火)は第2・4	
	小児神経(小児)				林北見・牧野道子		午後 予約患者のみ 月1回	
	小児腎臓(小児)				秋岡 祐子		午後 予約患者のみ 月2回	
	小児外科(外科)				齋藤 武			
	脳神経内科(脳神経外科)			横田隆徳(3ヶ月に1回)		橋本 祐二	午後1:30～ 予約患者のみ	
バリエーション(脳神経外科)		唐澤 秀治		唐澤 秀治				
膀胱外来(泌尿器科)				北村 温		第3木曜日の午後		

担当医師は、状況により変更することがありますので、ご了承ください。